

豊城中学校の ESD 活動

＜活動の概要＞

- ・当校は、「知性・品性・感性あふるる豊城中」をモットーとして、ESDを伝統文化の継承と地域貢献と捉え、ESDの実践を通して自ら地域の中で自分を生かす力の育成を目標とした。
- ・具体的には、プロジェクト～継（KEI）～を柱に、①伝統文化継承に係る学習、②地域貢献に係る学習を行った。

・活動の実際

① プロジェクト～継（KEI）～ 伝統文化継承活動

生徒たちは校区の三つの伝統文化について学び、体験し、ボランティアとして活動している。

1 チーム祇園（3年生の学び）

出前講座では、祇園祭の歴史等について学び、総合的な学習では、祇園祭を盛り上げるための提案をまとめた。本年度は、祇園まつりでのごみ袋配付のボランティア活動を行い、生徒たちが活躍することができた。栈敷席で祇園花火を見る機会をいただき、地域の伝統的な行事のよさを体験した。

2 チーム鬼（2年生の学び）

希望者による郷土玩具のお面づくりを夏休みに行った。自分たちの手で実際にお面を作ることで、鬼祭りをより身近に感じる機会になった。出前講座では、豊橋美術博物館の学芸員を招き、鬼祭りの歴史や由来など興味深い話を聞いた。豊橋を代表する伝統ある祭りであることを誇りに思う生徒が増えた。

3 チーム文楽（1年生の学び）

本校区には市指定無形文化財「飽海人形浄瑠璃吉田文楽保存会」がある。17年前から総合的な学習の時間に、保存会の方々を招き、その歴史や人形浄瑠璃のしくみ、動かし方について学ぶ会を継続している。2・3年生の音楽の授業に人形浄瑠璃の学びを取り入れ、その理解を深めている。

② 地域貢献活動（全校生徒）

1 豊川クリーン作戦

隣接する豊橋公園のボランティア清掃から始まった自主清掃活動が、平成30年度より、全校生徒が参加する活動になった。豊橋公園だけでなく、学校の隣を走る国道沿いの歩道や1級河川豊川に隣接する豊川遊歩道の清掃を行うことで、環境保全への意識を高めることをねらいとしている。自分たちが生活している地域を美しくする活動を通して、環境を整備することの大切さを実感する機会になっている。

2 資源回収への協力と地域とのつながり

家庭から出る資源を回収する活動を毎年行っている。生徒たちは自分たちの暮らす地区を周り、段ボール・雑誌・新聞紙・空き缶などを地域の方と協力しながら集めている。活動を通して、家庭にある資源を無駄にしない意識を高めるだけでなく、地域の方との交流の場になった。集まった資源から得た収益で、部活の備品などを購入し有効活用している。地域の方々と教師と生徒が一緒に汗を流して働くこの活動は、地域と共に生きる生徒たちにとって、社会貢献を学ぶ大切な時間となっている。

2023

豊川クリーン活動の様子

